



STS システムサポート presents

全国選抜小学生 プログラミング 石川県大会

最優秀賞

河並夏希さん(金沢市田上小4年)

作品名▶**目指せセーフティワールド**

最優秀賞に輝いた「目指せセーフティワールド」は、プログラミングでゲームを作る「ハックフォープレイ」を活用し、ドラゴンクエストを参考に、地域の危険な場所を、楽しく知ってもらうためにゲームを制作しました。

通学路にある用水路は柵や暗渠が少なく危険なため、キャラクターが用水の近くを歩くと体力が減り、ゲームオーバーになり、用水の反対側を歩くと見事、ゴールできる仕組みです。

金沢市田上校下で相次いだクマの出没を受け、クマを避けてゴールを目指すゲームも作りしました。

戦うゲームではなく、「見えない敵」から攻撃されるとの想定で危険な場所を表す工夫を凝らしました。

世界について楽しく学ぶことを考えていた時、ゲームで地域や県、国、世界の危険な場所が分かれば安全に過ごすことができると考えたのがきっかけです。



河並夏希さん(金沢市田上小4年)が最優秀賞を受賞した様子

全国大会に向け、河並さん会でも頑張りたい」と抱負を話しています。

達に感謝しています。全国大

危険な場所を 楽しく知るゲーム

システムサポートpresents全国選抜小学生プログラミング石川県大会・決勝大会が11月28日、金沢市の北國新聞交流ホールで開かれ、書類選考を通った12組25人が「みんなの未来」をテーマに、プログラミングを使ったアイデアを発表しました。最優秀賞には金沢市田上小4年の河並夏希さんが考案した「目指せセーフティワールド」が選ばれ、来年3月6日にオンラインで開催される全国大会への出場権を得ました。

審査員

- システムサポート社長
石川県情報システム工業会長
小清水 良次氏
- ITビジネスプラザ武蔵館館長
長谷川 清氏
- 金沢学院大学教授
経済情報学部長
桑野 裕昭氏
- 金沢工業大学准教授
河並 崇氏

特別賞

片山津わくわく工作部(加賀市)
「介護ロボット あんしん君」
IoT(モノのインターネット)で小型コンピュータ「マイクロボット」を接続して見守る介護ロボットを開発しました。決まった時間に高齢者に声を掛けたり、室温や明るさの調整を行ったりするなど、介護する人の負担の軽減を図りました。

細川大輝さん(能美市湯野小5年)
「未来の宅配ボックス」
宅配ボックスの内部に赤外線カメラや傾斜センサーを付けたコンピュータオペレーティングシステム「ラズベリーパイ」を活用し、センサーが反応すると、指定した人に画像付きメールを送付する仕組みで、荷物が入ると知らせてくれます。

西野晴耕さん(金沢市田上小6年)
「未来のインベーダーゲーム」
地球を襲うインベーダーが町の建物を撃破する想定ゲームで、スクラッチチャットとインベーダーの新たな組み合わせや、従来にない建物の屋上という舞台演出、最高得点記録の機能などで飽きずに楽しめるように工夫を凝らしました。

岡崎康佑さん(金沢市小立野小4年)
「ウイルスとの戦い」
新型コロナウイルスと戦うイメージのゲームを作りました。医療従事者に見立てたハリネズミが針を使ってウイルスを撃破し、戦うと寄付されるお金でサポートアイテムのロボットが召喚される仕組みを紹介しました。

鈴木匠さん(金沢市扇台小4年)
「消毒くん」
超音波センサーで30センチ近い所に手をすると、サーボモーターが動作して消毒液が出る仕組みです。使用回数がかかるようにLEDで表示し、無線で小型コンピュータ「マイクロボット」に飛ばして表示と音で知らせるようにしました。

審査員アイデア賞

石川元気応援隊「ジャンピン」
正武田杏慈さん(輪島市三井小5年)

優秀校賞

輪島市三井小学校



優秀賞

勅使小6年パレット(加賀市)

作品名▶**みんな SMILE 未来の学校**

優秀賞には勅使小6年パレットの「みんな SMILE 未来の学校」が選ばれました。小型コンピュータ「マイクロボット」を駆使して作ったロボットで、驚かせて楽しませる「お化け屋敷」による未来の学校を提案しました。センサーで人を感知すると、



「お化け屋敷」で驚きと楽しみ

音が鳴り、リモコンでも遠隔操作でき、人が近づくと光る仕組みです。

開発したのは、勅使小6年

パレットの藤原駿さん、塩村環さん、出口境馬さん、新宅一翔さんの4人です。コロナ禍でいろんな行事に影響が

出中、全校児童に「楽しく登校し、満足して下校」してもらおうと考え、4人が分担して作りしました。

未来の学校では、玄関や教室に人が来ると感知して名前を呼んであいさつしたり、遠く離れた所からでも黒板消しを操作したりします。教室に入ると、教室がパッと光り、元気を与えてくれます。季節や時間によってイルミネーションの色が変わります。4人は「テンションが上がり、学校では元気に明るく笑顔になれると思う」と話しました。



主催/北國新聞社、全国新聞社事業協議会 特別協賛/システムサポート 協賛/アイ・オーデータ機器 後援/経済産業省、デジタル庁、石川県、金沢市、石川県教育委員会、金沢市教育委員会、NHK金沢放送局、北陸放送、テレビ金沢、金沢ケーブル、エフエム石川、ラジオかなざわこまつななお



常識に捉われない
新しい価値を。
システムサポートには、
やりたい仕事に挑戦できる
環境がある。